

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年 3月 28日

事業所名：福岡市立めばえ学園

保護者等数（児童数） 62

回収数 56

割合 90%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54	1	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	54	2	0	0	・朝の準備などで先生一人で数人の児童の対応をしているのが大変そうでした。 ・基準よりも多い職員を配置頂いて手厚い対応に安心して通わせることができています。	当園は、園児3人に対して職員1人の職員配置となっています。場面によっては職員1人で複数人の園児の対応をすることもあるかと思いますが、お子さまには可能な限り丁寧に関わるよう努めます。
	3-1	生活空間は、お子さんにわかりやすく「構造化された環境」【注ⅰ】になっていると思いますか。	56	0	0	0	視覚優位な所があるので、絵カードや写真で分かりやすく次の活動へ移行してくれるのでそこがありがたいです。	今後もお子さまにとってわかりやすく安心できる環境作りに努めます。
	3-2	障がいの特性に応じて、事業所の設備等は、バリアフリー化やわかりやすい情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	56	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	54	2	0	0	・清潔にはしていただいているが、古さは感じる。 ・施設が古くなっているので、建て替えを検討して欲しい。保護者が選択できるようになると老朽化を理由に選ばれないのはもったいないくらい良い園です。	予算の関係もあり、現時点での建て替えは難しいと考えられますが、老朽化している箇所は優先順位をつけて改修できるよう努めます。
適切な支援の提供	5	契約時に、運営規程、「年間カリキュラム」【注ⅱ】、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。	52	2	0	2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	54	0	0	2		
	7	お子さんのことを十分理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「児童発達支援計画」【注ⅲ】（年間・半期の目標、まとめ等）が作成されていると思いますか。	53	1	0	2		
	8	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」【注ⅳ】に示された支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	56	0	0	0		

適切な支援の提供	9	「児童発達支援計画」(年間・半期の目標、まとめ等)に沿った支援が行われていると思いますか。	55	0	0	1	計画に沿った支援のおかげでできるが増えています	今後もお子さまの状況を把握し、保護者の皆さまと一緒にお子さまの目標設定と支援内容を考え、それに応じた関わりができるよう努めます。
	10	園の「活動プログラム」【注v】が固定化しないよう工夫されていると思いますか。	55	0	0	1	特性にそった活動ができればいいと思っています。	クラス単位で活動することが主となりますが、個々のお子さまの特性に応じた活動内容や支援ができるよう工夫をしております。年長児ではグループ別療育も実施しております。今後もよりお子さまに合わせた活動内容が行えるよう努めます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さんと活動する機会がありますか。	48	3	1	4		
保護者への説明等	12	契約時に、運営規程、「年間カリキュラム」【注ii】、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。	56	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」(年間・半期の目標、まとめ等)を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	56	0	0	0		
	14	園では、家族に対して家族支援プログラム(「ペアレント・トレーニング」【注vi】等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	54	2	0	0	親向けの学習会、ペアトレ等、家庭で起こりがちな悩みや気になることを取り上げて行って頂けるのでとても参考になりました。子の病欠などで突然、学習会を欠席となってしまう時も、ビデオ配信でフォローして頂けるのはとても良かったです。	今後も保護者の皆さまにとって参考になる保護者学習会、ペアレントトレーニング等を実施します。また、学習会の動画配信も継続していきます。手遊び、うた、紙芝居などの動画配信も行います。
	15	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	54	1	0	1	定期的な面談もですが、普段の様子を連絡帳、電話、直接と細かく先生方が伝えて下さるのでとてもありがたいです。職員同士での情報共有がしっかりされていると感じるので安心します。他クラスの先生も分かる範囲で様子を伝えて下さる時があるので嬉しいです。	ご家族の方とお子さまの様子を共有し、共通理解のもと、お子さまに支援することが大切なことだと考えております。職員同士の情報共有にも努めます。

保護者への説明等	16	定期的に、保護者に対して面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	53	3	0	0		
	17	園の職員から、共感的に支援をされていると思いますか。	54	1	0	1	困っていることも嬉しいことも聞いて欲しいと思えるあたたかい雰囲気です	今後も保護者の皆さまが相談しやすい雰囲気や体制作りをし、ニーズに応じられるよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がなされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	44	4	0	8	・役員が負担になっています。障害受容もままならないまま、我が子のためにもなるとはいえ全体的なこともやることになったのは、きつい気持ちに追い打ちをかけました。 ・仕方のないことですが、保護者会等の負担は一部にかたよりがちな、と思います。 ・保護者同士の交流の場はありますが、なかなか障害によっても多様であり、ふみこんだ話はしにくいな…と感じています。	・ご負担が大きかったことへのフォローが足りずに申し訳ありませんでした。可能な限り、親子通園の保護者代表の方の負担が少なくなるようサポートをしたいと考えております。 ・園の運営等にご協力をいただいている保護者の皆さま、特に保護者会の役員の皆さまにはご負担をお掛けすることが多いと思っております。保護者会の役員の皆さまと相談し、今後の保護者会等の活動が負担増とならないように園としても考えていきたいと思っております。 ・今年度は日曜参観等の中で先輩保護者のお話を聞いていただいたり、一部、障がい種に特化した懇親会も実施しました。次年度も保護者同士の交流の機会、先輩保護者との交流の機会を通して、お話ができる機会を作っていきたいと考えております。
	19	お子さんや家族からの相談や申入れについて、「対応の体制が整備」【注vi】されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	54	1	1	0	相談などいつも親身になって聞いてもらえてとてもありがたいです。	ご相談ごとがある場合にはご相談者のお話を丁寧に聞きとり、迅速に対応できるように努めます。
	20	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	53	2	0	1		
	21	定期的に、通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果がお子さんや保護者に対して発信されていますか。	53	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分留意されていると思いますか。	55	0	0	1		
	23	園では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	54	1	0	1		

非常時の対応	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	56	0	0	0	避難訓練の様子の見学ができればうれしい。	保護者会、クラス懇談会時などに避難訓練の様子を見ていただけるよう検討いたします。
	25	お子さんの安全を確保するための計画について周知される等、安全確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	55	1	0	0		お子さまが園で安全に過ごすことができるよう、引き続き、施設・遊具等の安全点検などを定期的に行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した場合、速やかな連絡や状況の詳しい説明がされていると思いますか。	53	0	0	3	怪我等をした際に、降園時のバス停では話す時間が取れないから、バスの出発時間前に、怪我の様子等をお電話頂きとても助かりました。いつも速やかな連絡をして頂きありがとうございます。	お子さまに怪我等があった場合は迅速、適切な対応、また保護者の皆さまへの迅速、丁寧な連絡をするよう努めます。
満足度	27	お子さんは通園（通所）を楽しみにしていますか。	はい	やや楽しみにしている	どちらともいえない	いいえ	わからない	引き続き、お子さまが安心感を持ち、楽しんで通園できるよう努めます。
			46	6	3	0	0	
	28	お子さんは安心感をもって通所されていますか。	はい	やや安心感をもって	どちらともいえない	いいえ	わからない	
			50	5	0	0	0	家以外に安心感をもって過ごせる場所があることが、親も安心できてありがたいです。

		満足 している	やや満足 している	どちらとも いえない	不満である	わからない		
29	(総合的にみて)事業所の支援(サービス)に満足されていますか。	50	4	1	0	0	・担任の先生方はもちろん、それ以外の園全体の先生方がこどものことを認知してよく声をかけてくださり、こちらの園に通わせて頂いて本当に良かったです。 ・保育の先生、給食の先生、とても温かく素敵な先生ばかりです。卒園を控え、こんな園はもうで会えないだろうとしんみりしてしまいますが、運良く通えたことに御礼申し上げます。 ・最高の園です。 ・園の先生方のおかげで毎日楽しく通えています。色々と経験もできていて入園したころに比べたら、大きく成長したと思います。小さな気になる事や分からない事も、やさしく、相談しながら私自身色々と教えていただいています。 ・子供ひとりひとりを大切にしてくれて、先生方も熱心に子供のためを思っていて色々携わって下さるので通わせて本当に良かったです。	保護者の皆さまから、たくさんの温かいご意見をあげていただき、職員一同感謝をしております。今後も、お子さま、保護者の皆さまにとって居心地のいい園となるよう職員一同、お子さまや保護者の皆さまへの支援に努めます。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、机や本棚の位置やついたての使用などで刺激を整理し、お子さん本人がその場所で何をしたいかをわかりやすくする工夫です。
- ii 「年間カリキュラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
- iii 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標とその達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載した計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。
- iv 「児童発達ガイドライン」は、児童発達支援の提供すべき支援として、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を規定しています。
 本人支援とは、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5つの領域での支援のことです。
 家族支援とは、お子さんが安定して育ち、暮らしていくことを目的として、家族が安心して子育てを行うことができるよう、様々な家族の負担を軽減していくための物理的・心理的な支援を行うことです。
 移行支援とは、あたたなお子さんが、お住いの周囲の一たちから理解され、家族として安心して地域参加するための支援のことです。
- v 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの特性や発達課題等に応じた柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- vi 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がお子さんの行動を観察してお子さんの特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等の関わりのコツを学ぶことにより、お子さんが適切な行動を獲得し、保護者がポジティブな気持ちで子育てに向かうことを目標とした家族支援です。
- vii 「対応の体制の整備」は、保護者が事業所に対して、相談や「こうしてほしい」というお願いをする際に、誰に、どこにお話をすれば良いか、が決まっていて、それを保護者に知らされていることも含まれています。また、対応とは、相談やお願いに対して、迅速かつ適切な対応をするだけでなく、対応の必要がないことや対応できない事情について保護者が理解できる説明を行うことも含まれます。